

令和7年度 医療・介護連携に係るアンケート（概要）

【経緯】

鳥取県東部圏域では、平成27年度から医療・介護連携に係るアンケート調査を実施し、連携状況等の把握や連携強化の取組を行っています。

また、本アンケートでは令和元年度に作成しました「鳥取県東部 入院・退院時におけるケアマネージャーと医療機関 連携・情報共有の手引き」の活用状況や退院調整率の回答も依頼していましたが、退院調整率は9割を超えており、また手引きについても一定の活用状況が確認できたことより、今年度は目的及び調査項目を一部変更し実施しました。

【目的】

- (1) 圏域の医療介護連携の課題やICTの活用状況等を把握し、今後の連携体制や在り方について検討する基礎資料とする。
- (2) 「連携・情報共有の手引き」について、活用状況や改善点を把握し、医療介護連携の推進に向けて活用促進を図る。

【調査対象】

鳥取県東部圏域に属する下記機関の代表者（所属の意見を取りまとめて回答）

- (1) 病院 [地域連携担当者]
- (2) 居宅介護支援事業所 [介護支援専門員]
- (3) 小規模多機能型居宅介護事業所 [介護支援専門員]
- (4) 地域包括支援センター [ケースを担当する職員]

【調査項目】

- (1) ・前回調査時（R5年度）と比べ、医療介護連携の状況は変わっていますか
・「鳥取県東部 入院・退院時におけるケアマネージャーと医療機関 連携・情報共有の手引き」についてのご意見は
- (2) 在宅医療介護連携推進協議会・鳥取市保健所が主催する研修会について
（実態やニーズ、日程、開催方法など）
- (3) オンライン等ICTの活用状況（経験）、ご意見

【調査方法】

電子メール等で依頼し、電子申請または電子メールに添付したアンケート調査票にて回答のうえ回収する。

【調査期間】

令和7年10月27日から12月12日

【調査対象数及び回収数・回収率】

	対象数	回答数	回収率 (%)
病院	10	10	100.0
居宅介護支援事業所	45	45	100.0
小規模多機能型居宅介護事業所	31	26	83.9
地域包括支援センター	15	15	100.0
計	101	96	95.0

【結果概要】

1. 他機関との連携状況について

- 前回調査（令和5年）時に比べ「連携しやすくなった」が4割弱、「変わっていない」が約6割であった。変わっていない理由として、「以前から連携が取れていた」との回答があった一方、「連携具合に変化を感じない」「医療機関や事業所による連携のしやすさの違いは以前と変わらない」という回答も複数あった。
- 手引きについて肯定的な意見が6割を占めていた。一方「フォーマットの配色見直し」や「ダウンロードの要望」「定期的な修正・更新を求める」意見があった。

2. 在宅医療介護連携推進室・鳥取市保健所主催の研修会について

- 参加した研修会で一番多かったのは「多職種研修会“絆”研修」であった。今年度10年目を迎えた研修会であり、圏域の連携に向け、幅広く定着に向けた効果があったと思われる。また関心が高い研修内容として、「認知症に係る対応」や「災害・感染症対応」等の意見も多かった。
- 参加しやすい日程は「平日日中」が一番多く、また「1日で終わられる内容」を希望する回答が多かった。その他、「YouTube利用やアーカイブ配信を希望」の意見もあった。

3. オンライン等ICTの活用について

- オンラインの活用状況について「研修企画・受講」が一番多かったが、「退院カンファレンス」や「個別支援会議」で活用したとの回答もあった。
- ICT活用推進への意見として、「機器導入の金銭的負担が大きい」「ICT活用に詳しい職員が少ない」「一般家庭（高齢者世帯）に対するサポート体制を整えればもっと普及する」「導入した施設の実践例を知りたい」との意見があった。

4. 医療・介護連携について

- “退院支援を中心とした医療・介護連携の在り方”や“情報共有方法”“精神疾患や支援困難ケースへの対応”等、現場で直面する具体的な課題が多く挙げられていた。
一方で、医療・介護連携の重要性については共通した認識が示されており、実務レベルも含め今後も連携強化や運用改善、人材育成を含めた取組が求められる。